

事業評価の結果（内容評価項目）

福祉サービス種別 障がい者(生活介護)
事業所名(施設名) アトリエFuu

第三者評価の判断基準

長野県福祉サービス第三者評価基準の考え方と評価のポイント、評価の着眼点【障がい者・児福祉サービス版】共通項目に係る判断基準による

○判断基準の「a、b、c」は、評価項目に対する到達状況を示しています。
 「a」評価・・・よりよい福祉サービスの水準・状態、質の向上を目指す際に目安とする状態
 「b」評価・・・aに至らない状況＝多くの施設・事業所の状態、aに向けた取組みの余地がある状態
 「c」評価・・・b以上の取組みとなることを期待する状態

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
A	1 利用者の尊重と権利擁護	(1) 自己決定の尊重	① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1 利用者の自己決定を尊重するエンパワメントの理念にもとづく個別支援を行っている。 ■ 2 利用者の主体的な活動については、利用者の意向を尊重しながら、その発展を促すように支援を行っている。 ■ 3 趣味活動、衣服、理美容や嗜好品等については、利用者の意思と希望や個性を尊重し、必要な支援を行っている。 ■ 4 生活に関わるルール等については、利用者話し合う機会(利用者同士が話し合う機会)を設けて決定している。 ■ 5 利用者一人ひとりへの合理的配慮が、個別支援や取組をつうじて具体化されている。 ■ 6 利用者の権利について職員が検討し、理解・共有する機会が設けられている。 	<p>【着眼点1,2,3,4】～事業所の運営方針は、「自分らしい過ごし方、生き方」をキーワードに「やりたいことを見つける」「いろいろな体験する」「好きなことにチャレンジする」等のエンパワメント、ストレンクス理念が読み取れる内容になっており、自己決定を尊重するための個別支援が展開されていました。</p> <p>【着眼点2,3,4】～利用者さんは、同法人のグループホームや入所支援施設からの利用者さんが多数いて、それぞれの施設、事業所と日常的に利用者情報を共有しながら個別支援に反映していました。利用者調査の結果は、ほとんどの設問に対して「ほぼ満足」との回答がありました。</p> <p>【着眼点5,6】～法人組織の人権倫理委員会の職員研修に事業所の職員も出席して、障害者差別解消法の特に合理的配慮義務とグレーゾーン虐待や人権擁護についての学習会が定期的に計画され、事業所内の伝達研修により全職員が理解共有、全職員が取り組むこと</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
		(2) 権利侵害の防止等	① 利用者の権利侵害の防止等に関する取組が徹底されている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 7 権利侵害の防止等のために具体的な内容・事例を収集・提示して利用者に周知している。 ■ 8 権利侵害の防止と早期発見するための具体的な取組を行っている。 ■ 9 原則禁止される身体拘束を緊急やむを得ない場合に一時的に実施する際の具体的な手続と実施方法等を明確に定め、職員に徹底している。 ■ 10 所管行政への虐待の届け・報告についての手順等を明確にしている。 ■ 11 権利侵害の防止等について職員が具体的に検討する機会を定期的に設けている。 ■ 12 権利侵害が発生した場合に再発防止策等を検討し、理解のもとで実践する仕組みが明確化されている。 	<p>[着眼点7, 8]～権利擁護マニュアルを、法人組織として整備している、権利侵害の具体的な内容や事例等も提示されて、利用者会やスタッフ会で定期的に学習会を設け、全員の周知と防止発見への取り組みが資料等で確認できました。</p> <p>[着眼点9]～最高年齢の利用者さんは85歳で身体拘束を緊急やむを得ない場合に実施せざるを得ない事例もあり、身体拘束防止マニュアルに基づいて、適切に対応実施していました。</p> <p>[着眼点10]～虐待についての所轄行政への届け・報告事例は、ほとんどないようですが、届け・報告の手順等は整備されていました。</p> <p>[着眼点11, 12]～法人組織の人権倫理委員会による人権・権利侵害に関する学習会が定期的に開催され、事業所からも毎回出席して、事例検討や発生時の対応方法、再発防止策の検討等も事業所において図られていました。</p>
	2 生活 支援	(1) 支援の基本	① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 13 利用者の心身の状況、生活習慣や望む生活等を理解し、一人ひとりの自律・自立に配慮した個別支援を行っている。 ■ 14 利用者が自力で行う生活上の行為は見守りの姿勢を基本とし、必要な時には迅速に支援している。 ■ 15 自律・自立生活のための動機づけを行っている。 ■ 16 生活の自己管理ができるように支援している。 ■ 17 行政手続、生活関連サービス等の利用を支援している。 	<p>[着眼点13, 14, 15, 16]～事業所の運営方針として「自分らしく過ごす生き方を一緒に見つけよう」をキーワードに、利用者さん個々の自己決定を尊重する支援に基づいて、自律・自立を意図した個別支援が展開されていました。利用者さんの自立・自律支援計画は、年齢や障がい程度に配慮した個別及びグループによりプログラムが設定され、利用者さん個々のニーズと職員評価により実施されていました。</p> <p>[着眼点17]～日中活動事業所ということで、ニーズは多くないようですが、行政手続き等は、利用している法人の施設・事業所と連携して適切に対応していました。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
			② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 18 利用者の心身の状況に応じて、さまざまな機会や方法によりコミュニケーションがはかられている。 ■ 19 コミュニケーションが十分ではない利用者への個別的な配慮が行われている。 ■ 20 意思表示や伝達が困難な利用者の意思や希望をできるだけ適切に理解するための取組を行っている。 ■ 21 利用者のコミュニケーション能力を高めるための支援を行っている。 ■ 22 必要に応じて、コミュニケーション機器の活用や代弁者の協力を得るなどの支援や工夫を行っている。 	<p>[着眼点18]～事業所日課は、午前中に体操、ウォーキング、レクレーション、午後は簡易作業や外出活動等ゆったりした流れの中で、スタッフが利用者さん一人ひとりに自然に声かけや働きかけが行われていました。</p> <p>[着眼点19, 20]～コミュニケーション能力が十分でない利用者さんや意思表示が困難な利用者さんに対しては、個別支援計画で声かけや働きかけが数値目標として設定され実践されていました。</p> <p>[着眼点21, 22]～利用者さん個々のコミュニケーション能力を高める支援は、定期的な言語療法士による訓練を実施していました。</p>
			③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 23 利用者が職員に話したいことを話せる機会を個別に設けている。 ■ 24 利用者の選択・決定と理解のための情報提供や説明を行っている。 ■ 25 利用者の意思決定の支援を適切に行っている。 ■ 26 相談内容について、サービス管理責任者等と関係職員による検討と理解・共有を行っている。 ■ 27 相談内容をもとに、個別支援計画への反映と支援全体の調整等を行っている。 	<p>[着眼点23]～個別支援計画は、全スタッフに共有されていて、訪問調査の際は、日課活動の中で個々の利用者の状況に応じて、意識的に声かけ・働きかけが行われていました。</p> <p>[着眼点24, 25]～毎月1回の個別外出等の活動については、事前に地域の情報を提供し、利用者さんの選択希望により実施されていて、ゆっくり利用者さん個々の話しを同行の職員が聴く機会にもなっていました。</p> <p>[着眼点26, 27]～利用者さんからの相談内容は、記録により、担当職員、サービス管理責任者、管理者にも報告共有されて、個別支援計画にも反映される仕組みがありました。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
			④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 28 個別支援計画にもとづき利用者の希望やニーズにより選択できる日中活動(支援・メニュー等)の多様化をはかっている。 ■ 29 利用者の状況に応じて活動やプログラム等へ参加するための支援を行っている。 ■ 30 利用者の意向にもとづく余暇やレクリエーションが適切に提供されている。 ■ 31 文化的な生活、レクリエーション、余暇及びスポーツに関する情報提供を行っている。 ■ 32 地域のさまざまな日中活動の情報提供と必要に応じた利用支援を行っている。 ■ 33 個別支援計画の見直し等とあわせて日中活動と支援内容等の検討・見直しを行っている。 	<p>[着眼点28, 29]～日中活動は、午前中はウォーキング、リハビリ、レクリエーション、午後は利用者さん個々のニーズによりエコキャップ洗浄、花布巾作り、ぬり絵、プレスレッド等の多様な作業活動メニューが用意されていました。</p> <p>[着眼点30, 31]～活動プロジェクト委員会の事業計画により、利用者さん個々の活動についてのアセスメントを基に、サークル活動や外出活動、地域活動プログラムが用意されていて、利用者個々の自由選択で様々が活動が図られていました。</p> <p>[着眼点32]～活動委員会の事業計画により、地域のイベント、交流行事の情報が提供され、利用者さんが参加する仕組みがありました。</p>
			⑤ 利用者の障がいの状況に応じた適切な支援を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 34 職員は障がいに関する専門知識の習得と支援の向上をはかっている。 ■ 35 利用者の障がいによる行動や生活の状況などを把握し、職員間で支援方法等の検討と理解・共有を行っている。 ■ 36 利用者の不適応行動などの行動障がいに個別的かつ適切な対応を行っている。 ■ 37 行動障がいなど個別的な配慮が必要な利用者の支援記録等にもとづき、支援方法の検討・見直しや環境整備等を行っている。 ■ 38 利用者の障がいの状況に応じて利用者間の関係の調整等を必要に応じて行っている。 	<p>[着眼点34]～複数の職員の自己評価の結果において、利用者さんの障がいや疾病に関する専門知識が不足している職員がいるというコメントがありましたので、適切な対応をお願いします。</p> <p>[着眼点35, 36]～利用者さんの行動障がいによる不適応行動等に対する対応方法は、専門的なノウハウが蓄積されていて、特に経験の長い職員は、利用者さん個々の特性に応じた適切な対応を展開していて、業務チーム等の編成工夫により、新任職員も共有できる仕組みの工夫がありました。</p> <p>[着眼点37, 38]～サービス管理責任者、主任者が中心に、行動障がいの利用者さんの支援方法や検討・見直し、特に適切な環境整備や他の利用者間の調整を明示して、担当職員が中心に取り組んでいました。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
		(2) 日常的な生活支援	① 個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 39 食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本としておいしく、楽しく食べられるように工夫されている。 ■ 40 利用者の心身の状況に応じて食事の提供と支援等を行っている。 ■ 41 利用者の心身の状況に応じて入浴支援や清拭等を行っている。 ■ 42 利用者の心身の状況に応じて排せつ支援を行っている。 ■ 43 利用者の心身の状況に応じて移動・移乗支援を行っている。 	<p>【着眼点39, 40】～食事提供は、外部委託ではありますがありますが、献立は委託先の栄養士との定期的な話し合いが行われ、利用者個々の栄養状態や健康状態・嗜好も検討されて、献立メニューに反映される仕組みがありました。</p> <p>【着眼点41, 42, 43】～入浴は、法人の入所支援施設やグループホームで入浴するため、事業所で入浴する利用者さんは少ないようですが、入浴設備は適切に整備され安全快適な入浴支援の体制がありました。</p> <p>【着眼点42, 45】～排泄や移動移乗は、比較的自立している利用者さんが多く、誘導や見守り支援が適切に行われていました。</p>
		(3) 生活環境	① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 44 利用者の居室や日中活動の場等は、安心・安全に配慮されている。 ■ 45 居室、食堂、浴室、トイレ等は、清潔、適温と明るい雰囲気を保っている。 ■ 46 利用者が思い思いに過ごせるよう、また安眠(休息)できるよう生活環境の工夫を行っている。 ■ 47 他の利用者に影響を及ぼすような場合、一時的に他の部屋を使用するなどの対応と支援を行っている。 ■ 48 生活環境について、利用者の意向等を把握する取組と改善の工夫を行っている。 	<p>【着眼点44】～日中活動の共有スペースは、採光を意図した作りで、広々とした安心安全に配慮した環境になっていました。</p> <p>【着眼点45, 46】～食堂や浴室、トイレは広く、壁には利用者さんのアート作品が数多く展示されて落ち着いた環境になっていました。</p> <p>【着眼点47, 48】～静養室が広く、ベッド3台が常設されていて、利用者さんの不穏時等に利用される等多目的に活用されています。また、生活委員会を中心に利用者さんのニーズ調査や障がい特性に合った生活環境の工夫等の取り組みがありました。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
		(4) 機能訓練・生活訓練	① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 49 生活動作や行動のなかで、意図的な機能訓練・生活訓練や支援を行っている。 ■ 50 利用者が主体的に機能訓練・生活訓練を行えるよう工夫している。 ■ 51 利用者の障がいの状況に応じて専門職の助言・指導のもとに機能訓練・生活訓練を行っている。 ■ 52 利用者一人ひとりの計画を定め、関係職種が連携して機能訓練・生活訓練を行っている。 ■ 53 定期的にモニタリングを行い、機能訓練・生活訓練計画や支援の検討・見直しを行っている。 	<p>【着眼点49, 50】～理学療法士の個別リハビリ計画に基づいて、職員が生活リハとして日常的に継続実施していました。訪問調査時に利用者さんスタッフと一緒にラジオ体操もさせていただきました。</p> <p>【着眼点51, 52, 53】～2ヶ月に1回他医療機関から理学療法士にきていただいて、定期的に利用者さんのリハビリを実施していました。また、個別リハ計画は個別支援計画にも反映され、スタッフ全員が周知共有する仕組みの中で実施されていました。理学療法士の指導助言も年3回実施して、リハ計画の評価見直しも行っていました。</p>
		(5) 健康管理・医療的な支援	① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 54 入浴、排せつなどの支援のさまざまな場面をつうじて、利用者の健康状態の把握に努めている。 ■ 55 医師又は看護師等による健康相談や健康面での説明の機会を定期的に設けている。 ■ 56 利用者の障がいの状況にあわせた健康の維持・増進のための工夫を行っている。 ■ 57 利用者の体調変化等における迅速な対応のための手順、医師・医療機関との連携・対応を適切に行っている。 ■ 58 障がい者・児の健康管理等について、職員研修や職員の個別指導等を定期的に行っている。 	<p>【着眼点54, 55, 56】～利用者さんの健康状態のチェック把握は、看護師と生活支援スタッフにより適切に実施されていました。また、看護師の個別聴き取りにより、利用者さん及び職員の健康管理や個別健康指導等も定期的に実施していました。</p> <p>【着眼点57】～医療の緊急時対応マニュアルに基づいて、適切に実施されていました。</p> <p>【着眼点58】～利用者さんの健康管理、障がいや疾病については、定期的に職員研修を実施し、特に、新任職員には看護師による個別指導が実施されていました。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
			② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 59 医療的な支援の実施についての考え方(方針)と管理者の責任が明確であり、実施手順や個別の計画が策定されている。 ■ 60 服薬等の管理(内服薬・外用薬等の扱い)を適切かつ確実に行っている。 ■ 61 慢性疾患やアレルギー疾患等のある利用者については、医師の指示にもとづく適切な支援や対応を行っている。 ■ 62 介護職員等が実施する医療的ケアは、医師の指示にもとづく適切かつ安全な方法により行っている。 ■ 63 医師や看護師の指導・助言のもと、安全管理体制が構築されている。 ■ 64 医療的な支援に関する職員研修や職員の個別指導等を定期的に行っている。 	<p>[着眼点59]～緊急時対応マニュアルにより、管理者役割、ご家族・主治医への連絡等、適切な手順書が策定されていました。</p> <p>[着眼点60]～看護師の管理により、支援員スタッフが適切に服薬の支援・確認を行っていました。</p> <p>[着眼点61, 62, 63]～医療的ケアの必要な利用者さんに対しては、関係する施設やグループホームの看護スタッフや嘱託医・主治医の連絡、指示により、看護師を中心に適切な対応がされていました。</p> <p>[着眼点64]～看護師は、高齢利用者の健康管理や安全安心体制のために、医療的ケア等に関する職員研修や医療情報共有の研修会を実施していました。</p>
	(6) 社会参加、学習支援		① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 65 利用者の希望と意向を把握し、社会参加に資する情報や学習・体験の機会を提供する等、社会参加への支援を行っている。 ■ 66 利用者の外出・外泊や友人との交流等について、利用者を尊重して柔軟な対応や支援を行っている。 ■ 67 利用者や家族等の希望と意向を尊重して学習支援を行っている。 ■ 68 利用者の社会参加や学習の意欲を高めるための支援と工夫を行っている。 	<p>[着眼点65, 66]～利用者さんやご家族の希望や意向については、担当支援スタッフを中心に把握されていて、対応も適切に実施されていました。</p> <p>[着眼点67]～個別支援計画のアセスメントは、ご家族にも協力していただき、意向や希望に応じて、学習支援も実施していました。</p> <p>[着眼点68]～利用者さんの社会参加活動等は活動委員会を中心にニーズ調査から計画・実施が行われていました。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
		(7) 地域生活への移行と地域生活の支援	① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 69 利用者の希望と意向を把握し、地域生活に必要な社会資源に関する情報や学習・体験の機会を提供している。 ■ 70 利用者の社会生活力と地域生活への移行や地域生活の意欲を高める支援や工夫を行っている。 ■ 71 地域生活への移行や地域生活について、利用者の意思や希望が尊重されている。 ■ 72 地域生活への移行や地域生活に関する課題等を把握し、具体的な生活環境への配慮や支援を行っている。 ■ 73 地域生活への移行や地域生活のための支援について、地域の関係機関等と連携・協力している。 	[着眼点69, 70, 71, 72, 73]～利用者さんの地域生活への移行や希望する生活支援等に関しては、中・長期計画の中で自立スキル講座やケアスタートプランニングネットワーク事業、地域生活サポートセンター事業等として具体的に明示され、法人組織として一体的に取り組む仕組みがありました。
		(8) 家族等との連携・交流と家族支援	① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 74 家族等との連携・交流にあたっては、利用者の意向を尊重して対応を行っている。 ■ 75 利用者の生活状況等について、定期的に家族等への報告を行っている。 ■ 76 利用者の生活や支援について、家族等と意見交換する機会を設けている。 ■ 77 利用者の生活や支援に関する家族等からの相談に応じ、必要に応じて助言等の家族支援を行っている。 ■ 78 利用者の体調不良や急変時の家族等への報告・連絡ルールが明確にされ適切に行われている。 ■ 79 利用者の生活と支援に関する家族等との連携や家族支援についての工夫を行っている。 	<p>[着眼点74]～家族等との連携交流は、利用している同法人の施設・事業所等と連携しながら、事業所としても連絡帳で情報の共有を図り、また、生活状況も、広報誌や担当職員から随時連絡報告をしていました。</p> <p>[着眼点76, 77]～家族会や個別支援計画のアセスメント時に家族と個別に話し合う機会を設け、担当職員、管理者が丁寧に相談支援をしていることを記録で確認しました。</p> <p>[着眼点78]～・利用者さんの体調不良や急変時には、緊急時対応マニュアルに基づいて、ご家族への連絡等の体制が整備されていました。</p> <p>[着眼点79]～家族会には、管理者と関係職員が必ず出席し、法人施設・事業所の課題や利用者支援の課題等について意見交換を行い、ご家族からのニーズについても協議していることを家族会議録で確認できました。</p>
	3 発達支援	(1) 発達支援	① 子どもの障がいの状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> □ 80 子どもの発達過程や適応行動の状況等を踏まえた発達支援(個別支援)を行っている。 	(対象外)

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
	支援			b)	<input type="checkbox"/> 81 子どもの発達に応じて必要となる基本的日常動作や自立生活を支援するための活動や取組について、個別活動と集団活動等を組み合わせながら実施している。	
				c)	<input type="checkbox"/> 82 子どもの活動プログラムについてはチームで作成するとともに、子どもの状況に応じた工夫や見直しを行っている。	
					<input type="checkbox"/> 83 子どもと保護者に対し、学校及び保育所や認定こども園、児童発達支援事業所等との情報共有、連携・調整をはかっている。	
	4 就労支援	(1) 就労支援	① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	a)	<input type="checkbox"/> 84 利用者一人ひとりの働く力や可能性を引き出すような取組や工夫を行っている。	(対象外)
				b)	<input type="checkbox"/> 85 利用者一人ひとりの障がいに応じた就労支援を行っている。	
				c)	<input type="checkbox"/> 86 利用者の意向や障がいの状況にあわせて、働くために必要なマナー、知識・技術の習得や能力の向上を支援している。	
					<input type="checkbox"/> 87 働く意欲の維持・向上のための支援を行っている。	
					<input type="checkbox"/> 88 仕事や支援の内容について、利用者への定期的な報告と話し合いを行っている。	
					<input type="checkbox"/> 89 地域の企業、関係機関、家族等との連携・協力のもとに就労支援を行っている。	

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
			② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。	a) <input type="checkbox"/> b) <input type="checkbox"/> c) <input type="checkbox"/>	<p><input type="checkbox"/> 90 利用者の意向や障がいの状況に応じた仕事時間、内容・工程等となっている。</p> <p><input type="checkbox"/> 91 利用者が選択できるよう、多様な仕事の内容・工程等を提供するための工夫を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 92 仕事の内容・工程等の計画は、利用者で作成するよう努めている。</p> <p><input type="checkbox"/> 93 賃金(工賃)等を利用者にわかりやすく説明し、同意を得たうえで適切に支払われている。</p> <p><input type="checkbox"/> 94 賃金(工賃)を引き上げるための取組や工夫を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 95 労働安全衛生に関する配慮を適切に行っている。</p>	(対象外)
			③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	a) <input type="checkbox"/> b) <input type="checkbox"/> c) <input type="checkbox"/>	<p><input type="checkbox"/> 96 職場や受注先の開拓等により仕事の機会の拡大(職場開拓)に努めている。</p> <p><input type="checkbox"/> 97 障害者就業・生活支援センターやハローワーク等との連携を定期的かつ適切に行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 98 利用者の障がいの状況や働く力にあわせて、利用者と企業とのマッチングなどの就職支援を適切に行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 99 就労後の利用者と職場との関係づくりなど、職場定着等の支援を必要に応じて行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 100 利用者や地域の障がい者が離職した場合などの受入や支援を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 101 地域の企業等との関係性の構築や障がい者が働く場における「合理的配慮」を促進する取組・働きかけを行っている。</p>	(対象外)